

春闘のたたかい中で、仲間を増やしていこう！

## 組織拡大スタート宣伝

3月1日(木) 早朝8時から市内3ヶ所(淀屋橋、なんば、天王寺)で大阪労連「春の組織拡大月間」スタート宣伝をおこない、40名が参加。労働相談フリーダイヤルの入った1800枚のピラとティッシュを配布しました。

全国的にみても雇用情勢が厳しい大阪。「労働組合に



入って、また作って声を上げ、労働環境・条件をよくし

よう」「労働問題で困ったら是非お電話を」と訴えました。

宣伝の中で、ティッシュを受けた若い女性が、はさまっていたピラを取り出し、ピラを読みながら、訴えを聞いている姿も見られました。

## 講義のあと、消費税増税反対署名

学び、実践！生協労連 生協労連大阪府連では、4年連続で「労働組合基礎講座」をスタート

させ、第1回講義に25名が受講しました。講義のテーマは、まずは原点、「なぜ労働組合をつくるの



か」から。この春闘時期に合わせて行うことに意義があり、この講座を通じて昨年も新たに若手の労組役員も誕生しました!! 労働組合の日常的な様々な課題に対して私たちが元気よくとりくむために何が必要なのかを講義と討論で深めていきます。

講義終了後、森之宮駅前で「2400作戦」を実施。参加は、4単組の16名のなかまで、「消費税増税反対」の宣伝・署名行動を行い、約30分の宣伝でしたが署名20筆を集め、ピラ付きティッシュ300個を配布しました。

## 子ども・子育て新システムをSTOPに!

福保労・大阪自治労連

子ども・子育て新システムでは子ども達はまもれない!と、「子ども・子育て新システム」の導入を許さない大阪実行委員会が、3月3日に天神橋商店街で、ひな祭り宣伝を行いました。参加者からは、「橋下市長の『保育ママを増やせばいい、保育士の基準も国基準に下げればいい』の発言に、批判の声が上がっている。」「公務サービスがコストを基準に決められてい



けば、泉南市で起きたプール事故を繰り返すことになる」など、新システムでは子どもの成長を保障する制度にならず、国や自治体が制度の拡充を



行うべきと、訴えました。当日は風船など用意し、参加した37人が元気よく行動し、150筆を超える署名が集まりました。